社是:喜んでもらえる喜び己も喜びたい

経営方針と成長戦略



1. 経営理念と社名の由来、2020年度経営スローガン

<経営理念>

喜んでもらう喜び 己も喜びたい(FOR YOU)

<社名 TBの由来>

- ①トレンディビジネス(TB)を目指します。
 - 時流の「環境」「健康」「観光」のグッド3K市場でニッチトップシェアをとる事業を行います。
- ②トータルワンストップビジネス(TB)を目指します。

メーカーからソリューションビジネスまで、ワンストップで顧客満足の高いビジネスを行います。

<2020年度 経営スローガン>

ピンチをチャンスに変える。ワンチームで!

2. 会社概要

会 社 名	株式会社TBグループ
代 表 者	村田 三郎
設立	1946年11月6日
本社所在地	東京都文京区本郷3-26-6
資 本 金	40.5億円
上場取引所	東京証券取引所市場第2部(証券コード6775)
従 業 員 数	連結145名、単体49名
事 業 内 容	①LEDサイネージ&ソリューション事業
	②レジスター・POS・フィンテック機器メーカー
	③スマートヘルスケア&ホテル「スマテレ®」事業

3. 強みは、技術・商品開発力…普及率ゼロ・業界初(PAT保有)の歴史

創業~1970年代 ・コンピュータ発明 ■トランシ スタ発明 •LED 発明

・マイコン/PC誕生

1980年代 ·家庭用VTR発売 •3D映像第2次ブーム

1990年代 •携帯電話誕生

・マルチメディア元年

・インターネット元年

•Webフ・ラウサ・登場

・プラス・マTV登場 ●デジカメ登場

2000年代

•iMac/iPod登場 • DVDレコーダ 登場

2010年以降

▪iPhone/iPad登場 - 掃除ロボット・ルンバ登場

■ブルーレイ登場

今後の 成長戦略

AloT・フィンテック

デジタ

Ĭレ

+

ィ

ネ

キャッシュハ

イブ

ij

ツド

技術と融合

DOOH

通信 ネットワー



コイルパック等 高周波部品&製品



ファックスアダプター 科学技術長官賞受賞



1992年 多機能電話「キャップホン」 NHK協業



1999年

見えるラジオ「ババラビジョン」



スマホ入力の表示機 入力革命

ビデオ 映像

デジタル

デジタル サイネージ

サイネージ

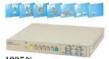
LED表示機 & **ECO**

レジスター POS

電子マネー & ヘルスケア







1995年 セキュリティー関連機器 「スキップバックレコーダー」



ソーラーバネル + LED表示機 観光案内





2000年 超高輝度オレンジLED表示機 「バデラ2000」



新世代薄型面光源 イルミフェイス (住友化学と共同開発)





LEDライト事業



病院コンシェルジュ端末



ステッ

^ ル

レジスター・POS開発の歴史



K22EB 加算器 をベースにした機 械式レジスター

1987年



オービカルブランド初代LED表示機

手書き入力専用キーボード付

(累計20万台出荷)

NT13 普及型 レジスターヒット 商品

電子マネー開発の歴史



ブリベイドカードシステム発売



4. TBグループのアドバイザー

安藤 国威(あんどう くにたけ) 氏

<略歴>

昭和17年1月1日生まれ

昭和44年 ソニー株式会社入社

昭和54年 ソニー・プルデンシャル生命保険

株式会社(現ソニー生命保険株式

会社)代表取締役常務

平成 6年 ソニー株式会社取締役

平成12年 ソニー株式会社 代表取締役

社長兼COO

平成17年 ソニーフィナンシャルホール

ディング株式会社 代表取締役会長

平成23年 ソニー生命保険株式会社 名誉会長

(株)TBグループ 特別顧問

中島 義雄(なかじま よしお) 氏

<略歴>

昭和17年3月30日生

平成5年 大蔵省(現財務省)主計局次長

平成12年 京セラミタ(株)代表取締役専務

平成17年 船井電機㈱取締役執行役員副社長

平成21年 セーラー万年筆㈱代表取締役社長

平成29年 (財)日本価値協創機構特別顧問(現任)

㈱TBグループ 社外取締役

中澤 信雄(なかざわ のぶお)氏

<略歴>

昭和19(1944)年8月7日生

1968年 4月 野村證券株式会社入社

1996年 6月 同社代表取締役専務(投資銀行兼国際金融)

1999年 6月 国際証券株式会社代表取締役社長

2002年 9月 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

株式会社代表取締役社長

2004年 6月 三菱UFJモルガン・スタンレー国際 投信株式会社代表取締役会長

2006年 4月 事業創造大学院大学学長

2010年 6月 東京コーパス総合研究所代表

取締役社長(現任)

(株)TBグループ 顧問

藤野 公孝(ふじの きみたか)氏

<略歴>

昭和23年5月29日広島県生

平成11年 運輸省運輸政策局観光部長

平成12年 大臣官房 総務審議官(退官)

平成15年 参議院議員

平成18年 国土交通大臣政務官

平成27年 (一社)全日本社寺観光連盟会長

平成29年 (一社)宿泊施設関連協会最高顧問

㈱Mビジュアル 顧問

5. 成長戦略



ニューノーマル(新常態)でコロナ禍に打ち勝つ!

- A-1.補助金・助成金を活用した店舗再生ビジネス
 - ①業態転換支援(東京都 新型コリケルス感染症緊急対策)事業
 - →例:デジタルサイネージ購入費等 最大16万 コンテンツ制作費 最大16万
 - ②4月1日改正健康増進法・受動喫煙防止条例の完全施行対応
 - → 全国 中小企業 補助率1/2 (既存飲食店2/3) 上限100万
 - →東京都 中小飲食店・宿泊施設 補助率4/5 (100㎡以下9/10) 上限400万
- A-2.6月1日HACCP衛生管理の義務化に伴うビジネス
- B. ビジネスモデルを変えていく(収益源の多角化)
 - ①"つなぐ"を実現しストックビジネスへの転換
 - ②サイネージ映像化促進(白黒テレビをカラー化)
 - ③セルフ化促進 人手不足→コスト削減・ウイルス対策
 - ④新しい販売スタイル創出(チャネル・リセール開拓)

TBグループの新型コロナ感染拡大対策コンテンツ (2020, 4/23 現在)

①液晶サイネージ政府広報コンテンツ



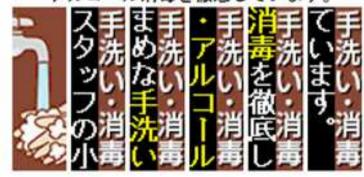
②LED感染予防コンテンツ

新型コロナウイルス感染拡大防止の 対策を実施しています。



スタッフの小まめな手洗い・

アルコール消毒を徹底しています。



③販売促進コンテンツ

テイクアウト やってます



お持ち帰りできます



デリバリー やってます



出前・配達 承ります



お弁当 やってます



弁当・惣菜 販売中



5.1 成長戦略/DS部門

■コア分野

業界シェアNO.1➡映像化

テーマ: <u>白黒テレビをカラーテレビへ!</u> → シェアNO.1ディスプレイを総リプレースへ!

- ①<u>フルカラー映像化戦略推進</u>
 - 主力製品スーパーエコリアの拡販
 - フルカラーラインナップ強化
- ②共通プラットフォーム/ストックビジネス
 - ユーザビリティ向上
 - スマホ簡単入力リモート対応
 - ユーティリティソフト共通化
- →ネットワーク化によるストックビジネス
- →新ルート・市場への商品提供

Super CoRea









映像化/ネットワーク化



■NEWステージ分野

テーマ: 有力企業との製品開発・新市場へ!

- ①N社協業、5Gスマート街路灯への導入
- ②M社協業、車両誘導サイネージへの導入
- ③CIVID-19対応サイネージへの取り組み
- ④コンテンツ収入型モデル、収益源を多様化







③クラウド型体温監視LED表示器



○カメラ+サーモカメラー体型 ○通信モジュール内蔵

5.2 成長戦略/SA部門

●86期の実績

戦略:特需を捉える/新マーケット開拓

- ①軽減税率対策補助金の特需獲得
- ②官公庁へのインテリジェントドロアの導入
- ③USEN社協業による製品供給
- 4 タブレットレジメーカーへの商品供給
- ⑤中堅コンビニエンスへの導入

① 申請件数 約10000 件以上









■改正健康增進法・受動喫煙防止条例

の完全施行に対応

- ①補助金・助成金を活用
- ②罰則が伴う厳しい規制
- ③法改正に対応した設計
- ④未成年バイトの募集に必須
- ⑤広告サイネージへ進化
- → <u>コロナ禍に対応した</u> <u>扉レス/3密回避を実現!</u>



■NEWステージ分野

テーマ: 有力企業との製品開発・新市場へ!

- ①高速道路付帯施設への導入
- ②ニューノーマル時代のセルフ化の取り組み 人手不足 → コスト削減・ウイルス対策
- ③チェーン組織体への導入 〇学校売店への導入 〇大手書店への導入 〇テイクアウト専門店への導入
- ○パーキング・サービスエリア 約120拠点○物販POS/レストランPOS 約400台○小型POS 約300台
- ②導入先業態調査 スーパー約9割 飲食店等約1割※



飲食店を始め…… レンタル・衣料品 ディスカウントへ



※マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査

6. ㈱Mビジュアル戦略

1)設立	•平成13年10月1日
2)資本金	-6000万円
3)代表者	・代表取締役社長:和田 鉄也・取締役:村田 三郎・取締役:清水 洋一郎(元JTBコミュニケーションス・代表取締役)
4)主要株主	・TBグル―プ(100%)
5)事業内容	① IPTV事業 ホテル向けIPTV "スマテレ®" ・インテリジェント タブレット事業 3000室で稼働中 ・ハイスピードWifiサービス事業 ホテル向け高品質Wifiサービスを JR関連ホテルにて契約し稼働中 ② AIロボットサービス事業 ホテル向け"案内&デリバリーサービス ③多言語音声ペン事業 TOTO&シチズンミュージアムで採用 ④COVID-19関連事業

6.1 「IPTV スマテレ®」





- ■スクリーン.・ミラーリングサービス機能付き
- オンラインショッピング "JAPAN TREND " (PAT)
- ■多言語対応 広告配信機能
- ■インフォメーション・メッセージ・アンケート機能付
- ホテルスタッフ清掃管理支援機能

9

With コロナ(GoToキャンパーンの活用)

Withコロナ(AIロボットで密接回避)





- ①MAYUDMA 事業の見直し
 - →FC展開からホステル再生事業への転換
 - →新しいクリーン環境への取り組み
- ②MAYUDAMA CABIN横浜関内の活性化
 - →GoToキャンペーンを活用した集客手段
- 新型コロナウイルス感染症の流行収束後の一定期間に限定して、官 民一体型の消費喚起キャンペーン「Go To キャンペーン」を実施。

①Go To Travel キャンペーン

 ・旅行業者等経由で、期間中の旅行商品を購入した消費者に対し、 代金の1/2相当分のクーポン等(宿泊割引・クーポン等に加え、 地域産品・飲食・施設などの利用クーポン等を含む)を付与(最大 一人あたり2万円分/泊)。

②Go To Eat キャンペーン

- → オンライン飲食予約サイト経由で、期間中に飲食店を予約・来店した 消費者に対し、飲食店で使えるポイント等を付与(最大一人あたり 1000円分)。
- 登録飲食店で使えるプレミアム付食事券(2割相当分の割引等) を発行。
- ※国土交通省HPより抜粋(第二次補正予算可決1.6兆)



山口県の「MASTERS CAFÉ ナチュラルグリーンパークホテル店」実証実験中

- ①レストランなどにおける料理の配膳を行い、 お客様と従業員の密接を回避します。
- ②ホテルにおけるルームサービスを実現し、

 <u>密接回避と人件費削減</u>に貢献します。

ロボットサービス事業を上海大学のベンチャー企業と共創し、多言語デリバリーボット (MDR-1)を飲食店・ホテル向けサービス事業を具現化して参ります。

デリバリー機能は46リットルと大容量の商品搬送能力があります。斜度10度の坂道登攀が可能で、12時間連続稼働できカメラ搭載によりスマホで遠隔監視も可能です。10-

COVID-19対応支援事業

コロナ禍の拡大で緊急事態宣言が出され今後の展開について予断を許さない状況となっている。特に 医療現場では患者の増加でいかに医療崩壊を防ぐかが喫緊の課題となっています。特に軽症のコロナ 患者の対応に関しては政府は各自治体を通じてホテル等を利用する方向にはなっているが、現状宿泊 施設関係者は医療知識がないこともありそうした対応には事実上簡単に踏み切れない懸念がある。

そこでこの度COVID-19対応支援パッケージを現状の弊社グループの持つデバイスとシステムを利用して緊急に開発し、病院と連携して各自治体を通じてホテル施設への支援サービスの一環としてサービス提供する。



病院



- ・IPTVシステム
- ・バイタル確認
- 緊急対応

- ・バイタルデータ送信
- ・Alによる異常値検知

- ・症状の確認と緊急時 対応
- ・オンラインアドバイス



システム&サービス提供



※上記スキーム及びIOTシステムはビジネス特許申請準備中

7. (株)ホスピタルネットの成長戦略(健康分野事業会社)

<会社概要>

1)設立	平成10年10月1日
2)資本金	5.49億円
3)役員	·代表取締役会長:村田 三郎 ·代表取締役社長:武田 利信 ·取締役:山崎 充彦 ·取締役:安本 光治 ·取締役:信岡孝一
4)主要株主	・(株)TBグループ ・シダックスフードサービス(株) ・日本金銭機械(株)
5)事業内容	病院をホテルのように快適に!を経営 理念として展開している。 <tvカードシステム> ・プリペイド方式テレビカードシステム ・FeliCa ICカードシステム(HosCa) <院内コンシェルジュシステム> ・タブレット端末(HosPad) ・医療機関向け 外来呼び出しシステム ・健診システム ・ママ友チャンネル <iotヘルスケア></iotヘルスケア></tvカードシステム>



北里大学病院

新病院に受け継がれる パイオニアの精神

■病床数:1,033床

1971年の開院以来、高度な先端医療を持つ大規模医療機関として発展してきた北里大学病院は、2014年5月7日に新病院をオープンした。その際に「HosPad」が666台導入され、入院案内や手術・検査説明のコンテンツ、売店発注システム、アンケート機能等で新病院の運営に貢献している。旧病院から受け継がれる「患者中心の医療」、「共に割り出す医療」を理念と

旧病院から受け継がれる「患者中心の医療」「共に創り出す医療」を理念とし、50年後の医療のあり方を見据え「成長する病院」を目指し続ける新北里大学病院より、今回は現場の事を一番理解されている看護部長に「HosPad」導入の経緯と効果について話を伺った。



患者中心の医療、共に創りだす医療

北里大学病院は、戦後最初に設立された私立大学病院である。

当時はまだ医師が病院の中心であるという考えが一般的な時代であったが、そこで患者中心の病院を作りたいと志す人が全国より集まって設立されたのが、この北里大学病院。こうした背景を持つ北里大学病院では、全職員にチーム医療の意識が自然と浸透しており、セクション間の風通しも良く自由な意見交換が行われてきたそうです。

「以前から会議ではタブレットを使っていました。それを患者さんにも持っていただき、術前指導や各種情報の説明が出来たら良いという意見が出ていました。ご年配の方にも使いやすいのではないかという意見も出ており、HosPadの導入は早々に決定されました。」

ざっくばらんに切り出して下さった点からも、風通しの良さはセクション間だけではないと感じました。



美術館のような待合空間。ゆったりとした雰囲気 の中で患者さんが寛いでいました。



入院された患者さんに人気の病棟ラウンジから は、素晴らしい景色が広がっている。